

スイス

プチ パレ

— 珠玉のフランス近代絵画 —

美術館展

9.14 TUE
2021
11.7 SUN

【開館時間】 9:30～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】 月曜日(9/20は開館)、9/21

【入館料】 一般 1,200円 / 高大生 800円 ※学生証をご提示ください
中学生以下無料 ※ただし保護者の同伴が必要
○専門学校・専修学校は大学に準じる
○障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1名のみ)無料

【主催】 佐川美術館(公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団)

【後援】 在日スイス大使館、滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会

【企画協力】 株式会社ホワイトインターナショナル

【協力】 SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

【表面作品】 オーギュスト・ルノワール 《詩人アリス・ヴァリエール＝メルツバッハの肖像》 1913年
ASSOCIATION DES AMIS DU PETIT PALAIS, GENEVE



印象派 ギュスターヴ・カイユボット 《子どものモーリス・ユゴーの肖像》1885年



新印象派 マクシミリアン・リュース 《若い女の肖像》1893年



ナビ派 モーリス・ドニ 《ペロス=ギレックの海水浴場》1924年

スイス プチ・パレ美術館展 - 珠玉のフランス近代絵画 -

伝統的な写実主義のもと、一部の富裕層や貴族など特権階級の間で愛好されてきたフランス絵画。19世紀末から第一次世界大戦勃発(1914年)に至るまでの時期は、「ベル・エポック」(良き時代)と謳われ、美術史上新たな画期を迎えることになります。この頃のパリでは、これまでに無い新たな芸術を生み出そうとする機運が高まり、画家は独自の感受性を持って現実世界に目を向けるようになります。描かれるテーマもダンスホールやカフェ、芸術家たちの交流など、市井の人々の暮らしぶりに焦点が当てられ、当時の庶民にとって芸術が身近な存在となったのです。印象派をはじめ新印象派、ナビ派、フォーヴィスム、キュビズム、エコール・ド・パリに至るまで、様々な絵画様式が生み出されたフランス近代絵画。画家独自の技法や色彩感覚により描かれた作品からは、パリの華やかな文化・生活様式がうかがえます。

現実世界の忠実な再現にとどまらず、芸術によって自らを表現するという精神のもと、新たな絵画のあり方を追求し続けたフランス近代絵画の名品をスイス・ジュネーブのプチ・パレ美術館所蔵作品約65点によりご紹介いたします。なお、同美術館のコレクションが日本で紹介されるのは、約30年ぶりのことです。

French painting, based on traditional realism, was held in high regard by members of the privileged classes—nobility and social elites. But a new era of art history emerged from the end of the nineteenth century to the outbreak of World War I (1914)—a period known as “La Belle Époque,” a golden age in which the arts flourished in Paris. Momentum was gathering for the emergence of radical new forms of art, and artists started to see the world differently and take new approaches. The subjects of paintings turned to the lives of common people, from cabarets and bistros to cafés where artists would gather. Art became an object of interest even to the less affluent public at this time. Many styles and movements were born in French modernist painting, from Impressionism and Neo-Impressionism to Les Nabis to Fauvism and Cubism, encompassed in the term École de Paris. The new techniques and sense of color artists employed in their paintings speak to the vibrant culture and lifestyles in Paris of that era. Approximately 65 masterpieces of French modernist art are on display in this exhibit from the Petit Palais, a private museum of modern art in Geneva, Switzerland. The works range from faithful realism to new artistic expressions that see the world with a fresh inner eye. The exhibit is the first in three decades in Japan to show works from the collection of this museum.

プチ・パレ美術館

スイス・ジュネーブのプチ・パレ美術館は、チューニジア出身の実業家オスカー・ゲイツ(1905-1998)が絵画、彫刻など自身のコレクションの展示を目的に自宅敷地内に設立した美術館です。「平和に奉仕する芸術」を理念に芸術を愛し、多くの人々と生きる喜びを分かち合いたいという想いで、1870年代から1930年頃までのフランス近代絵画の作品を収蔵、公開してきました。印象派から新印象派、ナビ派、フォーヴィスム、キュビズム、エコール・ド・パリに至るまでその作品は多岐にわたります。現在は美術館として一般公開は行わず、展覧会への貸出を中心に事業を展開しています。

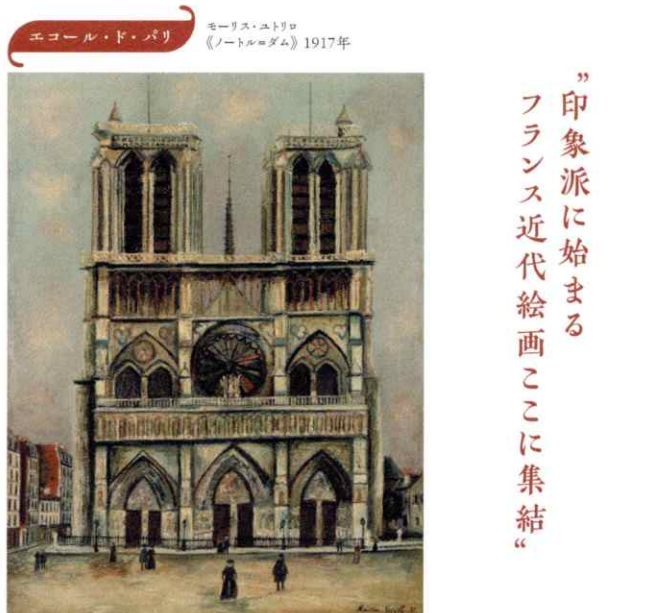
※画像は全て ASSOCIATION DES AMIS DU PETIT PALAIS, GENEVE



フォーヴィスム アンリ・マンギャン 《ヴァルフランシュの道》1913年



キュビズム ジャン・メツヴァンジュ 《スフィンクス》1920年



エコール・ド・パリ モーリス・ストロ 《ノートルダム》1917年

”印象派に始まる
フランス近代絵画ここに集結”

ACCESS



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業時間および休館日を変更している場合がございます。ご来館前にホームページでご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

【鉄道・バスご利用の場合】

- JR守山駅から
バス約35分「佐川美術館」下車
- JR堅田駅から
バス約15分「佐川美術館」下車

【お車ご利用の場合】

- 駐車場有70台、美術館入館者は駐車料無料
- 名神東ICから 約30分
 - 名神京都東ICから、湖西道路真野出口・琵琶湖大橋経由 約30分
 - 名神瀬田西ICから 約30分

[Opening hours] 9:30 a.m. - 5:00 p.m.
(Entry to exhibition until 4:30 p.m.)
[Closed] Mondays and 21 September
(Open 20 September)
[Admission] General: ¥1,200 / University and senior high school students: ¥800 / Junior high school students and younger: Free
*When accompanied by an adult

- Junior colleges/vocational schools are equivalent to university
- Patrons with a disability (disability card must be presented) and attendants (one attendant per patron) admitted free

2891 Kitagawa, Mizuho-cho, Moriyama-shi, Shiga 524-0102 JAPAN
Tel 077-585-7800 Fax 077-585-7810
〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891
Tel:077-585-7800

佐川美術館 SAGAWA ART MUSEUM